

つぼみ保育園年報 第18号

2015年(平成27年)8月 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園
〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24
[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780
[E-mail] tsubomi@nifty.com
[HP] http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/

光と影の織りなす夢の世界

影絵

去る、平成二十七年一月に創立五〇周年記念事業が実行委員会の皆様の手により盛大に催され、多くの皆様のご協力を得てお祝いをして頂きましたことに対し心より御礼申し上げます。多くの皆様との繋がりの中で五〇年の歴史が刻まれたのだと感謝の念でいっぱいです。これからも更なる保育の充実に向けて職員一同、努力してまいります。

さて、当園では、五〇年の歴史の中で、光と影で表現する影絵劇に取り組んで三〇年になります。

昭和六〇年から誕生会の出し物の一つとして始めた影絵劇は、子どもの情操教育のためにと当時の園長、現大浦理事長から「影絵をしてみたいか」という投げかけから始まりました。



影絵特有の黒い影から様々なことを感じ、発想豊かに独創性を膨らませている子ども達です。

喜んで、悲しんだり、心も動いている様子が手に取るようにわかります。

背景づくり④録音⑤上演練習とあり合わせの道具を使って、見よう見まねで創っていくことから始まり、平成六年には本園創立三〇周年を記念してプロの影絵劇団「角笛」と共演する機会を得ました。これを契機に、園内だけでなく地域の皆様にと一般公開に踏み切りました。大浦理事長総監督の指導のもと試行錯誤を繰り返しながら、手づくりの温かい作品づくりを心がけ現在に至っています。

今年、一般公開のつぼみ影絵劇場は二二回目を開催しました。

当日、子ども達は一〇円を持って、受付でチケットと交換し、ワクワクドキドキしながら開演を待つ中で、舞台裏では最終確認に余念のない職員たちの緊張感が漂い、会場内が真暗になりよいよ開幕です。大きなスクリーンに映し出される黒いシルエットを食い入るように見つめている子どもたち、お話を聴きながら物語の世界に入り込み、想像を膨らませながら、普段できない体験を物語りの中で主人公と一緒に体験しながら楽しんだり、心配したり、

喜んで、悲しんだり、心も動いている様子が手に取るようにわかります。

法人創立五〇周年を多くの皆様のご支援を頂戴し、言祝いで戴きました。心から感謝申し上げます。今後とも職員一丸となり良い保育を目指してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、国は「子ども子育て支援新制度」に消費税増税分から七千億円の財源を準備し、「保育の質向上」「職員処遇改善」の実現をスタートしました。期待感満載の制度は、その効果も実感されつつありますが、疑問を役所に問い合わせる方も少なくありません。今年度はいろいろな事につづりながら慣れていくようにしたいです。

また、国は各自治体に対し、二月二十四日に「新制度」についてもこれまで各自治体で保育士の処遇を改善するために出していた補助金をなくすようなこととはしないことと通告しています。

福岡市は「子育てしやすいまち」を標榜していますが、今回の削減は明らかにその

うな行動をとるに至りませんでした。

▼先ず、陳情のための署名活動を実施することにし、全会員園に協力を求めました。▼五月二十七日には記者会見を「マスコミ」に訴えかけました。しかし、それを追うように「福岡市当局は我々の会員の直後に会見を行う」との考え方を発表しています。▼早速、夕方にはその模様をテレビで流れました。翌日の朝刊では各社が記事にしました。殆どは両者の会見内容を併記して、

「園長は基準の一・五倍の給与を取り、職員は基準以下の支給だ」と根拠のない基準をあげつらった記事を掲載していました。このネタ元が福岡市の記者会見であることは容易に想像できます。▼ある園長は保護者から「あの記事が本当なら、あなたの給料を減らして職員に手当を支給すべきではないか、署名は撤回する」と言われたと嘆いていました。▼次いで、五月三〇日には天神の福岡国際ホールで「子どもと保育園職員の処遇を守る決起大会」と銘打って集会を開きました。そこには市議・各園の園長・職員・保護者代表が参加し共通理解を深めました。▼つづきとさわらびからも園長・職員・保護者十二名が参加し、会場は九〇〇名を越す賛同者でいっぱいになり、今回の長時間・被服・研修の各手当削減に対し意見発表が行われ減らした。▼しかし、意見発表者はN紙の記事に言及する用意が整わなかったのだらうし、フロアからも意見が出ませんでした。▼私は

「子ども子育て支援新制度」

そのスタートがもたらしたもの

理事長/統括園長 **大浦 純平**

(園便り6月号と法人内報の記事を併せ編集掲載)

いま、私たち保育関係者は福岡市の保育関係補助金削減について頭を悩ましています。

今年の一月のこと、福岡市より「新制度の開始に伴い、これまで市単独補助として保育園の職員に出していた長時間保育手当・研修手当・被服手当の三手当を四月から廃止します」と通告してきました。この補助金は正規職員へ月平均一万四千円程度支給することの出来た貴重な財源でした。

福岡市の言い分は、「新制度になり各園に支給する委託費は今までより多くなるのでその分で賄うように」とのことでした。

私も福岡市保育協会はすぐに精査を始め、新制度

の実態が明らかになつてくるにつれて、増えるところか条件によっては減少する場合も想定される事が判つてきました。

また、国は各自治体に対し、二月二十四日に「新制度」についてもこれまで各自治体で保育士の処遇を改善するために出していた補助金をなくすようなこととはしないことと通告しています。

福岡市は「子育てしやすいまち」を標榜していますが、今回の削減は明らかにその

うな行動をとるに至りませんでした。

▼先ず、陳情のための署名活動を実施することにし、全会員園に協力を求めました。▼五月二十七日には記者会見を「マスコミ」に訴えかけました。しかし、それを追うように「福岡市当局は我々の会員の直後に会見を行う」との考え方を発表しています。▼早速、夕方にはその模様をテレビで流れました。翌日の朝刊では各社が記事にしました。殆どは両者の会見内容を併記して、

「園長は基準の一・五倍の給与を取り、職員は基準以下の支給だ」と根拠のない基準をあげつらった記事を掲載していました。このネタ元が福岡市の記者会見であることは容易に想像できます。▼ある園長は保護者から「あの記事が本当なら、あなたの給料を減らして職員に手当を支給すべきではないか、署名は撤回する」と言われたと嘆いていました。▼次いで、五月三〇日には天神の福岡国際ホールで「子どもと保育園職員の処遇を守る決起大会」と銘打って集会を開きました。そこには市議・各園の園長・職員・保護者代表が参加し共通理解を深めました。▼つづきとさわらびからも園長・職員・保護者十二名が参加し、会場は九〇〇名を越す賛同者でいっぱいになり、今回の長時間・被服・研修の各手当削減に対し意見発表が行われ減らした。▼しかし、意見発表者はN紙の記事に言及する用意が整わなかったのだらうし、フロアからも意見が出ませんでした。▼私は

以上が一連の顛末です。今後の展開がどうなるかは判りませんが、良い結果が導き出されることを祈るだけです。▼職員処遇を改善する「こは、即ち、「保育の質を向上させる」とにつながる」と信じています。

悩ましい一年になることでしょう、どうぞ、皆様のご理解とご支援を宜しくお願い致します。

歓喜と感謝

平成27年度 父母の会 会長 **喜多 正貴**

今年度で3年目の父母の会会長をさせていただくことになりました喜多正貴と申します。

毎回述べさせていただいておりますが、『きょういく』と聞いてどんなイメージを抱かれるでしょうか？教育や強育、叫育、凶育、怯育、狂育、恐育、今日育、協育、興育、競育、強育、驚育、響育・・・漢字って不思議なものです。その一文字一文字で言葉のイメージがはっきりと湧き出ます。私は目指すべき『きょういく』は『共育』でありたいと思っております。



を共有できましたこと、大変歓喜に満ち溢れましたとともに、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

これまでの歴史を大事にしつつ、最高！の先生方と共に、最光☆の役員メンバーと共に、最幸☆の子どもたちやパパさんママさんと共に、今年度のスローガン「**ザ☆共育 子どもと共に 家庭と共に 仕事と共に ～やれるときに、やれる人が、やれることをやろう(O)/ ～**」を合い言葉に、父母の会を盛り上げてまいりたいと思っております。

さて、話は変わりますが、昨年度の社会福祉法人輔仁会つぼみ保育園創立50周年記念事業に關しまして、たくさんのご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。実行委員の一人として微力ながらOBの方々のお力添えができましたこと、現役保護者の皆様とTシャツや運動会の際のジュース、友愛セール・バザーの際の模擬店などいろいろな時間や空間

最後になりますが、11月28日(土)に本園にて、「友愛セール・バザー」を行う予定です。皆様のご参加を奮ってお待ちしております。OBの皆様が、思い出深き当時を思い出していただき、居心地の良い時間を過ごしていただけたら幸いです。

今後とも皆様のご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

平成二十七年 行事	
4月4日	つぼみ保育園 新年度説明会
7日	親子歓迎遠足
18日	おたのしみ会
23日	園児健康診断(2日間)
5月1日	端午の節句おたのしみ会
16日	年長組親子保育
30日	年少組親子保育
6月6日	影絵劇場(一般公開)
12日	歯科健診
18日	おたのしみ会
7月7日	七夕まつりおたのしみ会
10日	お泊まり保育(青組)
11日	保護者ボランティア活動
18日	プール開き
22日	おたのしみ会
8月27日	おたのしみ会
9月10日	おたのしみ会
10月3日	運動会
15日	おたのしみ会
20日	年長組遠足
29日	敬老の集い
11月14日	園児健康診断(2日間)
19日	おたのしみ会
28日	友愛セール
12月3日	おたのしみ会
13日	輔仁会合同音楽祭
18日	作品展
19日	もちつき
25日	おたのしみ会
1月14日	おたのしみ会
3月6日	年長発表会
9日	おたのしみ会
27日	年少発表会
3月28日	桃の節句おたのしみ会
9日	遠足(年長)
16日	遠足(年少)
21日	卒園式
25日	入園式(新園児)
4月4日	新年度説明会
18日	親子歓迎遠足
5月1日	端午の節句
7日	歯科健診
12日	七夕まつり
24日	親子保育(本園にて)
6月5日	園児健康診断
10月18日	豆まき
11月3日	桃の節句
3月5日	親子保育
3月10日	園児健康診断

新たな歴史の幕開け

創立五十周年記念事業
実行委員長 伊集院直親



猛暑の候、皆様方におかれましては、日々「清祥のこととお慶び申し上げます。昨年、政治・経済の不透明感が徐々に薄まり、社会が落ち着きを取り戻しつつあるように感じます」と書きましたが、今年になっても世界情勢の変化に翻弄され、強き日本を取り戻すのは簡単なことではないのだな、と改めて感じております。

2部の記念講演では卒園生である上田泰己氏の貴重な話をお聞きすることができました。上田氏は現在東京大学大学院医学系研究科教授、理化学研究所生命システム研究センターのグループディレクターとして活躍中で体内時計の研究者として話題の方です。私達にも解り易く講演してくださり、つぼみ保育園に通園の時の思い出にも触れてくださりました。

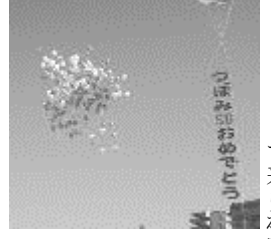
3部の記念式典・祝賀会には約330名の方々に出席頂きました。記念式典は厳かに、祝賀会は盛大に行われ、ご出席頂いた皆様の笑顔が何よりの喜びでありました。

1部 三園合同音楽祭では久しぶりに子ども達の演奏を聴くことができました。子ども達の一生懸命で真直ぐな姿勢はやはり美しく、娘がつぼみ保育園にお世話になつてきた時代のことを懐かしく思いました。

このように立派な記念行事を実現できたのは、皆様のご協力があったからこそであると深く感謝しております。心より御礼申し上げます。また、度重なる寄付のお願いや、思いの至らぬ失礼など多々あったかと存じます。この場をお借りしてお詫言申し上げます。つぼみ

収入の部		支出の部	
科目	合計	科目	合計
周年記念事業積立金繰入	1,494,846	式典・祝賀会経費	4,051,288
寄付金	1,521,140	記念誌発行費	819,168
記念誌への広告協賛金	760,000	記念品費(来賓・協賛者)	626,400
記念祝賀会費・祝儀	3,174,000	運動会協賛費	68,904
チャリティコンベン・Tシャツ販売	679,506	記念樹・記念品費(園)	1,099,872
友愛セール等	358,139	通信運搬費・消耗品等	544,048
利息	377	周年記念事業積立金繰越	784,328
収入の部合計	7,994,008	支出の部合計	7,994,008

50周年記念行事報告



園児も植樹に参加

■第50回運動会
10月18日の運動会のオープニングテーマは『祭り』。子ども達の元気な遊戯の後に実行委員長さんやお父さん方がアドバルーンと一緒にワッショイ、ワッショイと運んで来られた袋の中から出てきたのは、色とりどりの風船でした。青空に高く高く飛んでいくのを会場のみんで眺めながら、つぼみ保育園の50才を祝いました。



■記念講演
つぼみ保育園の卒園生で東京大学教授の上田泰己氏に「体の中の時間について」という演題で講演していただきました。システム生物学の第一人者の話を聴こうとたくさんの方が集まりました。研究心の芽は「つぼみ保育園」で育まれたという嬉しいお話もありました。



■第8回三園合同音楽祭
平成27年1月11日、福岡国際会議場メインホールで「第8回三園合同音楽祭」を開催しました。今回は50周年記念式典に参加されるお客様にもご来場いただき、広いホールがいっぱいになりました。

■記念品「プロジェクト」拝受
記念品として「プロジェクト」を頂戴しました。どうもありがとうございます。職員が制作から上演まで行っている影絵の背景を映し出すために、使用したいと思っています。



■記念式典・祝賀会
国際会議場の多目的ホールにて記念式典と祝賀会を催しました。大きくなった卒園児や元保護者、元職員なども多数ご出席くださり、会場のあちらこちらで昔話

トピックス

●大久保園長 瑞宝単光章受章
平成26年秋の叙勲にて大久保園長が瑞宝単光章を受章されました。保育士、主任保育士、そして園長として長年、真摯に保育に従事してこられた功績を称えられての受章に園をあげてお祝いしました。

●和太鼓の基本を学びました
和太鼓に取り組んで27年になり、長い年月を経て自己流になっていく部分を見直そうと職員と有志の保護者の方が芸能楽団「守破離」の大塚聖氏に構えや姿勢、バチの振り方、叩き方などの基本をご指導いただきました。それを活かすため、只今練習中です。

計報
第二(昭和51年度)昭和57年度園長
山口 伸子 様
(平成27年2月23日逝去)
輔仁会理事
吉浦 公生 様
(平成26年9月3日逝去)
輔仁会 つぼみ保育園のためご尽力くださったお二人でした。お二人の優しい笑顔をお心よりご冥福をお祈りします。
(主任保育士 小島千枝)

平成26年度 つぼみ保育園決算状況 (単位 円)	
【 資金収支計算書 】	
事業活動資金収支	268,256,040
経常経費寄附金収入	274,480
受取利息配当金収入	218,177
その他の収入	5,077,657
事業活動収入計(1)	273,826,354
人件費支出	180,416,277
事業費支出	32,258,830
事務費支出	20,195,240
支払利息支出	0
その他の支出	3,760,507
事業活動支出計(2)	236,630,854
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	37,195,500
施設整備等	0
施設整備等収入計(4)	0
施設整備等支出計(5)	896,600
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-896,600
その他の活動	0
その他の活動収入計(7)	0
その他の活動支出計(8)	35,232,260
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-35,232,260
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	1,066,640
前期末支払資金残高(11)	13,012,376
当期末支払資金残高(10)+(11)	14,079,016

【 貸借対照表 】	
資産	25,537,179
流動資産	436,068,532
固定資産	201,039,661
基本財産	235,028,871
その他の固定資産	461,605,711
資産の合計	461,605,711
負債	11,388,483
流動負債	3,795,520
固定負債	15,184,003
小計	43,103,048
純資産	148,827,026
基本金	181,500,000
国庫補助金等特別積立金	72,991,634
その他の積立金	446,421,708
次期繰越活動収支差額	461,605,711
小計	
負債及び純資産の合計	

平成27年度 職員構成 (7月1日現在 56名)	
理事長	大浦 純平
園長	大久保 雅子
つぼみ保育園	
主任	小島 千枝
副主任	猿渡 健一
副主任	西村 美香
もも組	津田 豊子 宮川 京子 岡 あき穂 稲用 美耶 林 郁子 大野 歩 越治 和代 大里 睦美 小西 真弓 松崎 征子 うめ組 西村 美香 吉田 香織 副島 綺羅星 前田 キララ 清水 淳子 田中 孝子 眞次 祐弥
さくら組	小田 彩佳 浜辺 優菜 福崎 夏弥 小田 晃子 川口 ますみ 藤井 由美子 野口 希世 小江 愛美
すみれ組	高崎 謙 吉田 安祐美
れんげ組	大浦 佳子
つくし組	幾度 良恵
わらび組	浦川 華奈美
なずな組	吉崎 仁美
年長7-	猿渡 健一 松本 達則
栄養士	岩崎 真樹 福島 千春
調理員	河津 和美 岡崎 千代 肥田 悦子 安部 順子
事務主任	大浦 理絵
用務員	中島 涼子
延長専任保育助手	伊佐 裕美子 森林 真央

平成27年度 父母の役員	
会長	喜多 正貴 (うめ)
副会長	長田 裕子 (つくし) 々 矢野 智子 (れんげ)
会計	庄崎 万梨恵 (なずな) 々 金子 真実 (わらび)
書記	大野 淳子 (すみれ) 々 宮崎 環 (すみれ)
委員	大久保 学史 (もも) 々 前田 康行 (うめ) 々 寛 哲弘 (さくら) 々 木原 桂子 (さくら) 々 篠原 弘 (すみれ) 々 浅見 宏亮 (すみれ) 々 前田 みき (すみれ) 々 坂戸 雄一 (れんげ) 々 酒井 志保 (れんげ) 々 太郎丸 仁 (れんげ) 々 中河原 健介 (つくし) 々 城 由起彦 (つくし) 々 金子 耕一郎 (つくし) 々 穴井 章子 (つくし) 々 森田 桂子 (わらび) 々 後藤 法子 (わらび) 々 檜林 宏恵 (わらび) 々 鈴木 裕之 (なずな) 々 神武 朋子 (なずな) 々 山根 康佑 (なずな)
監査	梅木 孝 (なずな) 々 古川 翼 (うめ)

寄せられた意見・要望 (社会福祉法の公表義務付けに準拠)

受付年月	申出者	受付内容	解決結果
平成26年6月26日	園児母親	年長組の子ども達が園庭で遊んでいる時間帯なのに保育室に子どもがいる。保育室にはハサミなど危険な物がある。もし、事故が起きたらどうするのか心配だ。という内容で東区子育て支援課に電話があったと子ども家庭福祉係より連絡があった。	通常、朝と夕方の園庭で遊んでいる時間は保育士が10分間隔で保育室の見廻りを行っているが、その合間をぬって保育室にいることがあるので保育室に鍵をかけることにした。保護者にもそのことを伝え、送迎時に園庭で遊んでいる時間帯は鍵を開けて入り、出るときは締めるなど協力してもらう。
平成26年8月20日	近隣男性	遊戯室から聞こえるピアノの音が響いてうるさい。体調が悪く自宅療養しているの静かにしてほしい。	ピアノを置いている場所を遊戯室の入口側に置くことにした。職員がピアノの練習するときは保育室を使用する様にし、職員みんなで音に対して騒音になっていないか意識を持ち、近隣に気を配るようにする。

第2つぼみ保育園(分園)	
分園長	田村 明子
保育士	中北 由里 上野 あすか 内田 久子 岡崎 久美子 野田 美和子 光安 佑佳 阿部 俊子 野中 智子
管理栄養士	城戸 奈緒